

N A M I E 広報なみえ

今月の表紙

15年ぶり新町通りで十日市祭 (01月23日撮影)

- 2 新年のご挨拶
- 5 新町通りで震災後初！なみえ町十日市祭
- 6 第31回浪江町子ども議会を開催
- 8 町政懇談会を開催しました
- 9 まちのニユース
- 10 保健だより
- 12 まちのわだい
- 14 まちからのお知らせ
- 28 請戸ものまつり開催しました／出張！撮れたて写真館

新年のご挨拶

町民の皆さまにおかれましては、未だ避難生活が続く中、ご壮健にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

すべての町民の皆さまにとって、令和8年が実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



浪江町長
吉田 栄光



令和7年を振り返って

昨年を振り返ると、様々な復興事業が動き出し、町内外の町民の皆さまや関係者の皆さまをはじめとした多くの人々の熱意とこれまでの努力が、目に見える形で具体化してきた一年でありました。

福島国際研究教育機構(F-REI)敷地造成工事起工に始まり、主要地方道の浪江三春線小出谷工区1・2号トンネル工事が起工し、旧浪江小学校跡での産学官連携施設建築工事の着工など、復興への歩みを着実に進めております。

また、昨年の10月から11月にかけて町政懇談会を県内外7か所で開催し、町内外の町民の皆さまと顔を合わせて意見交換をさせていただきました。ご参加いただきました皆さまには、この場を借りて御礼申し上げます。

様々なご意見をいただく中で厳しいご意見もありましたが、「復興への強い想いは皆一緒」であるということを再認識したところです。



浪江町復興計画【第三次】後期基本計画について

町は今、令和8年から令和12年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画の策定を進めています。

各施策や取り組みを次の段階にステップアップさせていく大変重要な段階に入っており、復興をさらに加速させていく今後5年間がまさに正念場です。

産業の再生支援はもとより、水素を始めとするエネルギーの地産地消の取り組み、大規模畜産施設を中心とする耕畜連携、施設間でエネルギーを効率的に融通する駅周辺整備事業、F-REIと融合したまちづくりの指針である浪江国際研究学園都市構想の策定等を進めてきました。

今後は、これらの産業を地域に根付かせ、積極的な企業誘致・民間投資を呼び込むなど、地域産業の持続的な成長(新事業の創出や雇用の創出、人材育成など)を促し、町としてしっかりサポートをしていきたい考えです。復興が進みゆく過程で、段階的に町の居住人口が増加し、医療および介護福祉、教育環境、公共交通道路の整備など、様々な公共サービスの質の向上へと繋がる社会循環システム構築を図ることが出来ていくでしょう。

復興は、町という単位だけではなく、地域・浜通りの復興に相乗して大きな波及効果を生み出し、さらなる化学反応を起こして加速していきますので、ぜひ楽しみに見ていてください。



帰還困難区域と一次産業について



室原地区の試験水田の田植え (2025年5月)



津島地区の紅葉 (2023年10月)

町の森林は、我々の大切な財産です。国有林を含む森林管理方針の早急な提示について、国・県に強く求め、帰還困難区域の森林と林業の再生に尽力していきます。特定帰還居住区域については、2020年代の避難指示解除を目指し、除染を進めております。中長期的で十分な財源の確保と切れ目のない支援について、引き続き国・県に要望していきます。

加えて、町の基幹産業である農業においても、各地区では場整備が進み営農の再開やリンゴの実証栽培、地元食材を使用した特産品の開発が進んでいます。漁業では、さけふ化施設が完成したほか、民間企業による陸上養殖の計画が進んでいます。町の一次産業は、課題を一つ一つクリアしながら、未来に向かって歩みを進めています。



ふるさと浪江の風景

昨年の11月、震災から15年ぶりに新町通りで「なみえ町十日市祭」が開催され、たくさんの露店が立ち並び、町内外から大勢の人々が訪れ、子どもから大人まで楽しんで、大いに賑わいました。

かつての賑わいに想いを馳せつつ、「また一つ、浪江の大切な風景が戻ってきた」ことが非常に感慨深く、震災以降も大切に守り続けてきた伝統文化を若い世代も一緒になって新しい風を取り込みながら引き継いでいく姿は頼もしい限りです。今後様々な事業が進行して、町の様子が変わっても、先人や町内外で暮らす皆さまの「ふるさと浪江」への想いと共に、しっかりと守っていきたい、そんな気持ちであります。



相馬野馬追 (2025年5月)



浪江浜まつり (2025年10月)



結びに

復興はまだ道半ばではありますが、復興の新しいステージに向かって、すべての町民の皆さまと共に力強く歩みを進めていくとともに、「広報なみえ」やホームページなどを通して、皆さまに発信していきたいと思っております。

令和8年が、町民の皆さまにとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



浪江町議会議長
山本幸一郎

明けましておめでとうございます。議会を代表しまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会への深いご理解と、議会活動への温かいご支援・ご協力に対し、議員一同、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、帰還困難区域において、墓地や神社につながるアクセス道路の立入規制緩和や、特定帰還居住区域での準備宿泊が開始されるなど、少しずつではありますが、早期の避難指示解除、帰還を望む町民の声に応えることができたのではと感じたところです。今後も、帰還困難区域を含めた町内全域の避難指示解除に向けた見通しや生活環境の整備・充実について、国に対し町とともに議員一同、引き続き強く求めてまいります。

さて、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からまもなく15年を迎えます。議会としては町民の皆さまがどのようなことを感じ、何を求めているのか、町民の皆さまの声を直接伺いをし、町はもちろん国や県などにも届けるべく、新しい議会体制の下、議会報告会や意見交換会を昨年再開いたしました。各会場でいただきました貴重なご意見、ご提言をしっかりと受け止め、今後の議会活動に活かしてまいりたいと考えております。

また、皆さまからいただいたご要望、ご意見を町に届け、町政に反映させることが議会としての責務であると考えております。本年も町民の皆さまの声を直接聴く機会を少しでも多く設け、議会がすべきことを実践し、町民に求められていることを一つでも多く実現できるよう、さらには、町政が抱える課題を慎重に審議しつつ、スピード感を持って対応すべく、議員一同、精一杯努力してまいります。

行政機関と議会では役割が異なり、政策の審議、議決、監視を担当する議会の仕事は、成果や実績が見えにくく、皆さまにとって身近ではないという面もあるかと思えます。実際に町民の皆さまから見えにくいというご意見があることも承知しております。議会としましても、これまで以上に議員同士、切磋琢磨して、二代表制の一翼を担う議会として、自主性を高めつつ、常に町民に寄り添い、わかりやすく開かれた議会の構築に努めてまいり所存であります。今後とも町民の皆さまのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆さまにとって良い年になりますよう、心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



平	松	半	佐	佐	紺	武	紺	鈴	佐	横
本	田	谷	木	木	野	藤	野	木	藤	字
佳	孝	正	勇		則	晴		幸	勝	史
司	司	夫	治	茂	夫	男	豊	治	伸	年

浪江町議会議員
(議席番号順)

新町通り

で震災後初!

なみえ町

十日市祭



花嫁行列の集合写真

©初沢亜利



上空写真

脱炭素アワード表彰式



浪江町内で行われた脱炭素に関する取り組み・活動を表彰する「Nami-E 脱炭素アワード2025」の表彰式が22日(土)、十日市祭メインステージで行われました。応募多数の中、受賞した10組に対し、吉田栄光町長から賞状と記念品を贈りました。また、副賞として上位4組の広告を「広報なみえ」に無償掲載します。

【受賞者】 (株)ライスレジン(最優秀賞)・福島舞台ファーム(株)(優秀賞)・ネットトヨタ福島(株)(未来創造賞)・會澤高圧コンクリート(株)(最先端マテリアル賞)・かもめミライ水産(株)・浪江町立なみえ創成小学校6年生・合同会社NAMIE DREAM PROJECT・BSホールディングス(株)・(株)孫の手・(株)大林組

11月22日(土)・23日(日)、十日市祭が震災前の開催地である新町通りで15年ぶりに開催され、2日間で約3万5000人が来場しました。歩行者天国となった新町通りに約130店舗が並んだ「大露店市」のほか、初開催の競りイベント「せり市」や音楽・お笑いステージも繰り広げられました。同時開催の「水素まつり」では、水素自転車の試乗コーナーなどが設けられました。

十日市祭は約150年の歴史がある町の一大イベントです。一部地域の避難指示解除後は浪江町地域スポーツセンターで開催してきましたが、来場者から「新町通りに戻してほしい」との要望が多く、また近年、新町通りの再整備が進んだこともあって今回開催にこぎつけました。「何としても新町通りで開催する」との思いで実行委員長を務めた阿久津雅信さんは、「かつての商店街はなく空地も多い中、ゼロからのスタートでした。来年はさらに会場を広げ、震災前の規模に近づけたいです」と語っています。

《十日市の歴史》

1873年	権現堂地区で市が始まる(諸説あり)
2011年	震災により避難先の二本松市で開催
2017年	浪江町地域スポーツセンターで開催
2025年	新町通りで開催

第3回 浪江町 子ども議会を開催



10月30日(休)、浪江町教育委員会は、町議会の仕組みを学び、次世代を担う子どもたちの主権者教育の一環として、「浪江町子ども議会」を開催しました。

子ども議会の開催にあたって、なみえ創成小・中学校では、総合的な学習の時間において「ふるさとなみえ」「わが町なみえ」の学びを深め、学習で得た成果や疑問に思ったことを、子ども議会で質問しました。

- 場所 浪江町役場 4階 議場
- 議員 小学校5、6年生(16人)および中学校1～3年生(26人)の合計42人
- 議長 議員の中から1人を選出
- 一般質問者 7班編成(小3班、中4班)のうえ、各班代表者2人=計14人

未来を担う子ども議員 子どもの視点からの提言

13時、議場へ入場するのは、今年初参加となる小学5年生と、昨年参加した堂々とした面持ちの小学6年生、中学生の議員たちです。

緊張感のある雰囲気の中、自分たちの氏名票が立てられた議員席に座り、議長の畠山泰稀さんが議会の開会を宣言すると、子ども議員は自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。



ご当地ヒーローなみえアベンジャーズPRIについてパネルを用いた提言



答弁を真剣に聞く姿



まちづくりについての提言



議長を務めたなみえ創成中の畠山泰稀さん

町内外でアンケート 手づくり資料も作成

一般質問は計14件。普段の私生活や授業で生じた疑問、町をより良くするための提言などを堂々と述べました。なかには町内外の住民に自らアンケートし、結果をまとめたグラフや表を用いるなど、入念に準備してきた様子がうかがえました。

一般質問に対し、吉田栄光町長や山本邦一、成井祥副町長、横山浩志教育長をはじめ、各課の課長などが「実現に向けて検討したい」などと答弁しました。

児童生徒にとっては、まちづくりの関心を高め、これからの町のあり方や政治を考えるきっかけとなり、大人たちにとっても新たな発見につながるなど、有意義な機会となりました。



実際の議会さながらの答弁をする
吉田栄光町長



小学生議員



中学生議員

令和7年10月30日 子ども議会一般質問一覧表

班編成 区分	通告 順	質問事項	質問者	答弁者
前半	1班	1 浪江町の病院について 小学校の遊具について	1班 【小学5年生】	町長 教育長
	2班	2 浪江町の鮭について なみえアベンジャーズについて	2班 【小学5年生】	農林水産課長 企画財政課長補佐
	3班	3 水素を使って電気を作る発電所について 焼そばパークについて	3班 【小学6年生】	産業振興課長補佐 産業振興課長補佐
後半	4班	4 浪江駅周辺整備事業について 「エフレイ」の説明と、町としての関わり方について	4班 【中学1年生】	副町長 町長
	5班	5 浪江町内の道路の整備について 本校の体育館のエアコン設置について	5班 【中学2年生】	建設課長補佐 教育長
	6班	6 水道の老朽化の対策をしているのか なみえウォーターについて	6班 【中学3年生】	住宅水道課長補佐 住宅水道課長補佐
	7班	7 売地の管理について 駅前グランドデザイン基本計画について	7班 【中学3年生】	住民課長補佐 市街地整備課長補佐

浪江町町政懇談会を開催しました

令和7年10月18日(土)から11月15日(土)まで県内外7か所で町政懇談会を開催し、69人の住民の皆さまにご出席いただきました。町政懇談会では、町の施策について説明し、意見交換を行いました。その概要を報告します。

問 企画財政課情報統計係 TEL 0240 (34) 0241



意見交換で出た主な意見を掲載します

● 町内の医療・介護施設の充実

【問】 町内に老人ホームや介護施設を作り、高齢者福祉を充実させて欲しい。

【答】 介護関連施設の開設については、周辺自治体との広域的な連携も視野に入れながら協議を進めています。

令和7年9月に連携協定を結んだ社会福祉法人博文会をはじめとした様々な団体に協力を得ながら、町民が今必要としている介護サービスを一定

程度受けられるような仕組みを作っていきます。

● 町道等の環境保全

【問】 道沿いの倒木が多くて危険。倒木対策は倒れてからではなく、倒れる可能性が高いものは事前に伐採してほしい。

【答】 国道114号については、福島県が現在、所有者の許可を得たうえで支障木の撤去を進めています。

また町道についても安全に利用できるようにパトロールの強化をしていきます。

● クマ出没情報や対策状況

【問】 町内のクマ出没情報や対策について状況を教えてください。

【答】 目撃情報が寄せられた際は即時防災無線等で周知しています。また農林水産課窓口でクマ鈴の貸し出しや追払い花火の配布を行っています。

住民が安全に町内で活動できるよう、しっかり対策を行っていきます。

● 帰還困難区域の状況

【問】 特定帰還居住区域内に自宅があり宅地の除染は完了して

いるが、ほかの場所の除染が進んでいないため解除にはなっていない。地区の住民が解除してもよいと意見をまとめないかぎり、避難指示解除はされないのか。

【答】 除染解体を進め、生活環境や用排水路等整備が一定程度完了した時点で、各地区の住民の考えを伺う場を設けたいと考えています。

様々なご意見があらうかと思えますので丁寧に進めていきます。

.....

【問】 帰還困難区域内での活動を自由化するとの方針を聞いた。バリケード撤去や個人の被ばく線量管理など安全管理が出来なくなると思うが町の考えを教えてください。

【答】 国は帰還困難区域の森林活動の自由化等を政府方針として示しているものの、詳細については決定していません。

別の会場の意見では、規制緩和の要望がありました。地区ごとに様々な意見がありますが、町民の安全確保は大前提として、それぞれの地区の意見を尊重しながら柔軟に対応し、国と協議を進めていきます。

【問】 高瀬川溪谷の将来像はどう考えているのか。

【答】 町の観光名所であり、時間が経っても回復させていきます。

● 高速道路無料化の継続要望

【問】 高速道路の無料措置は来年で終わりと聞いたが、町全域の避難指示が解除されるまで継続させてほしい。

【答】 今後の方針はまだ示されていませんが、継続するものと認識しています。状況を注視し、国にも要望していきます。

広報紙では、主な意見・質疑応答を抜粋し、要約して掲載しています。

町のホームページには、説明資料や意見・質疑応答の詳細を掲載していますので、ご覧ください。

また、意見・質疑応答の資料は、役場本庁舎(企画財政課、津島支所、出張所)でも配布しています。

町ホームページ



多文化共生セミナー

カナダの自然や社会を学ぶ

問 市街地整備課F-REI立地室 TEL 0240(23)6927



カナダ編講師のアナベルさん

11月15日(土)、ふれあい交流センターにおいて「多文化共生セミナーカナダ編」を開催し、8人の町民の皆さんが参加しました。

福島県国際交流員のアナベル・プルノモさんの講義と質疑応答を通して日本とカナダの文化的な違いやカナダの自然、社会、日常生活などについて学びました。

参加者からは「他の国で流行しているスポーツなどを体験したい」や「カナダのことがよく理解できた。今後他の国のセミナーも参加したい」などの感想がありました。

《インド編》1月24日(土) 開催します

日本とインドの文化的な違いや、インドでの生活に対する理解を深めるセミナーです。

詳しくは今月号同封のチラシをご覧ください。

- ▶日時 1月24日(土) 13時30分～15時
- ▶場所 ふれあい交流センター 会議室1
- ▶対象 浪江町民(町内企業などの就労者も可)
- ▶定員 20人(参加費無料)
- ▶申込方法 電話、または申込フォーム

申込フォーム



瀬戸復興副大臣へ要望書

問 企画財政課企画調整係 TEL 0240(34)0240

11月20日(木)、瀬戸隆一復興副大臣が浜通りを訪れ、このうち浪江町では、震災遺構・浪江町立請戸小学校や大平山霊園、教育関連施設などを視察しました。

その後浪江町役場にて吉田栄光町長、山本幸一郎浪江町議会議長と面会し、第3期復興・創生期間における十分な復興財源の確保や、帰還困難区域の再生などに向けた要望書を提出しました。



瀬戸復興副大臣(左)

ありがとうございました

企業版ふるさと納税

- 株式会社合同資源様(本社:千葉県長生郡長生村)
- イガラシ綜業株式会社様(本社:茨城県日立市)

株式会社合同資源様、イガラシ綜業株式会社様より、企業版ふるさと納税制度を活用した寄附をいただきました。「被災経験を生かしたみんなでつくるまち、みんなで支えるまち事業」に活用させていただきます。



イガラシ綜業五十嵐社長(右)

町では、企業版ふるさと納税制度を活用し、地方創生のまちづくりに取り組んでいきます。

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)



お詫びと訂正

広報なみえ12月号に掲載の「ありがとうございました」(9ページ)の記載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

〔誤〕 泉田征慶様(郡山市)

〔正〕 国際ロータリー第2530地区2025-26年度ガバナー 泉田征慶様(浪江ロータリークラブ)



お急ぎください!!

保健 だより

問 健康保険課健康係 TEL 0240(34)0249

带状疱疹予防接種は3月末まで

带状疱疹（不活化ワクチン）の接種を検討している人は、今月中に1回目を接種する必要があります。かかりつけ医とご相談ください。

【対象者】

これまでに1度も带状疱疹ワクチンを接種したことがない①、もしくは②に該当する人

①令和7年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上

②60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがある人

【接種期間は3月31日まで】

ワクチンは2種類ありそれぞれ回数が異なります。詳細は町ホームページをご覧ください。



睡眠とこころの健康

健康知恵袋



十分な睡眠をとり、ストレスと上手につきあうことは、こころの健康に欠かせない要素です。「休む」と「養う」ことの二つの機能を上手に組み合わせて、健康づくりをしましょう。

●睡眠には休養感が大切！●

適切な睡眠の目安として、朝目覚めたときにしっかりと休まった感覚(休養感)があることが重要です。

●うつ病と睡眠の関係●

- 長く続く睡眠不足や質の低下は、うつ病にかかりやすくなります。
- うつ病などの精神疾患では、初めに「眠れない」と感じる人が多いです。

●不眠の時に受診したほうがよい？●

全ての不眠が病気ではありませんが、不眠が何日も続き、日常生活に支障が出ている場合は医師など専門家に相談しましょう。



不眠の例

- 寝つきが悪い
- 夜中に目が覚めたあと、眠れない
- 夜中に何度も目が覚める
- 朝早くに目が覚めて、二度寝できない
- よく眠れないまま朝になる



ここから下は広告です。

令和7年度 県民健康調査「健康診査」のご案内

福島県と福島県立医科大学では、県民の健康を守り、将来にわたる健康増進につなげていくため、健康診査を実施しています。

対象の人には、受診の案内を令和7年11月に発送しています。ご自身の健康状態を把握する機会ですので、ぜひ受診してください。健診費用は無料です。

- ▶**対象者** ●平成23年3月11日から平成24年4月1日までに、避難区域などに住民登録していた人
●令和7年4月1日時点で避難区域などに住民登録していた人
※浪江町の総合健診にて県民健康調査の追加項目を受診された人は、今回の健診の対象外となります。
- ▶**実施期間** 令和8年1月～3月
- ▶**受診方法** 県内実施医療機関での個別健診、もしくは県内の公共施設での集団健診のいずれかを選択する。

問合せ先

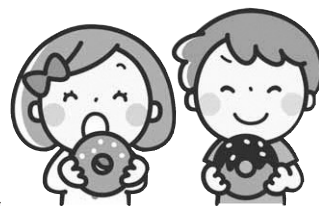
福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

TEL 024(549)5130（土日祝日／年末年始を除く 9時～17時）

試食つき！すこやかおやつ教室

子どものおやつ選びに悩んだことはありませんか？おやつは子どもの大事な栄養補給です。試食しながら、楽しく学びましょう。

- ▶**日時** 1月30日(金) 10時～11時30分
- ▶**場所** ふれあい交流センター会議室1
- ▶**対象者** 乳幼児期（概ね3歳以下）の子どもとその保護者
- ▶**内容** おやつに関するミニ講話、おやつの試食、管理栄養士への個別相談、保護者同士の交流など ※託児つき
- ▶**申し込み** 1月16日(金)までに健康保険課健康係まで電話 ※先着10組



ここから下は広告です。

10/30
(木)

なみえ創成中学校

子ども議会 まち活性化へ提案



挙手をして質問する生徒

浪江町子ども議会が開催され、1～3年生の生徒26人が子ども議員として質問や提案をしました。

子ども議会は今年で3回目です。1回目では、子ども議員の提案をきっかけに国道6号沿いに飲食店が新規出店した実績もあります。

今回は浪江駅周辺の整備や水道の老朽化対策、道路の整備などについて質問・提案し、吉田栄光町長や各課長が答弁しました。

議会を通し、生徒たちは浪江町の今後について深く考えるきっかけになりました。

【詳細は6～7ページをご覧ください】

11/7
(金)

なみえ創成小学校

校内持久走記録会

校内持久走記録会が行われ、1、2年生は800m、3、4年生は1,200m、5、6年生は1,600mのランニングに挑戦しました。保護者や浪江にじいりこども園の園児も応援に駆け付け、秋晴れのグラウンドを走り抜けました。



11/8～9
(土)(日)

しらす、にんにくなど農水産品PR

「成田市産業まつり」に出展



新鮮な農水産物の販売などが行われる「成田市産業まつり」に浪江町が出展し、請戸漁港で水揚げされた「しらす」、町産「にんにく」や「オリーブ」などの農産品、加工品などを販売しました。

また、浪江町のイメージアップキャラクター「うけどん」も参加し、ステージで浪江町のPRを行ったり、成田市特別観光大使「うなりくん」の誕生日企画に登場するなど、イベントを盛り上げました。

成田市は震災と原発事故後から、浪江町への支援を継続しており、現在も町への市職員派遣やイベントでの連携など、交流が続いています。

浪江町公式
フェイスブック浪江町公式
インスタグラム浪江町公式
エックスなみえ
チャンネルなみえ創成
ブログ11
8
(土)

ニュースポーツで元気にプレー 協会長杯グラウンドゴルフ大会



協会長杯グラウンドゴルフ大会が浪江町ふれあいグラウンドで開催され、54人がプレーを楽しみました。今回は、年齢や体力に関係なく楽しめるニュースポーツ「ファミリーゴルフ」のコースを取り入れ、参加者は元気よくプレーし、グラウンドに笑い声が響いていました。

	男性の部	スコア	女性の部	スコア
優勝	猪 狩 家 信 (42)		木 村 清恵子 (44)	
準優勝	田 尻 仁一郎 (43)		中 野 美智子 (44)	
第3位	増 子 三千男 (44)		朝 田 シゲ子 (44)	

11
1
(土)

緑豊かなコース満喫 パークゴルフ協会長杯秋季大会



浪江町パークゴルフ協会長杯秋季大会が広野町二ツ沼パークゴルフ場で開催され、51人が参加しました。

参加者は緑豊かなコースを楽しみながら、ナイスショットを重ねて交流を深めました。

	男性の部	スコア	女性の部	スコア
優勝	高 野 登 (112)		竹 村 益 子 (108)	
準優勝	渡 部 武 政 (114)		竹 村 秀 子 (124)	
第3位	岩 倉 安 英 (114)		長 瀬 妙 子 (126)	

11
16
(日)

ふくしま駅伝 5時間55分16秒 総合35位 (町の部15位)

第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が開催され、しらかわカタルススポーツパーク（白河総合運動公園）陸上競技場～福島県庁の16区間96.3kmを、57市町村の51チームが競いました。浪江町チームは5時間55分16秒で総合35位、町の部では15位の成績を収めました。

●浪江町選手団●（敬称略）

【監督】佐藤 晋 【コーチ】山本 幸輝、木村 郁也、山本 峻介

【主将】出澤 侑也

【代表選手】

1 区 吉田 真優	2 区 山本 峻介	3 区 山川 滉和	4 区 吉田 龍平
5 区 吉田 龍司	6 区 出澤 侑也	7 区 佐藤 幸大	8 区 松田 陽大
9 区 小野田桃子	10区 金山 裕生	11区 岡本 ちり	12区 西原 侑祐
13区 門馬 有利	14区 菊池 悠太	15区 岡 美里	16区 田中 滉大



駅伝ランナーを募集しています

生涯学習課社会体育係
TEL 0240(34)3941

浪江町駅伝チームは、ここ数年、選手の確保に苦慮しており、特に中・高生の選手が不足しています。駅伝に興味のある人、脚力に自信のある人など、新規メンバーを募集しています。お気軽にお問い合わせください。



農業委員会だより

☎ 農業委員会事務局（農林水産課内）

TEL 0240 (23) 5706

農業委員会より新年のご挨拶を申し上げます



令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より農業委員会活動の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当会では、町内農地の現状を把握するため、年一回、農地パトロールを実施しています。

農地に雑草が繁茂するなど遊休荒廃すると、火事や不法投棄、病害虫の発生、鳥獣の住処になるなど問題が発生してしまいます。耕うん、草刈りなど管理について、皆さん一人ひとりの協力をお願いします。

農業委員会の 主な活動内容

- 農地の売買・貸借の許可や農地転用への審査
- 農業者年金の加入促進
- 農地利用状況調査（農地パトロール）の実施
- 新規就農者の誘致
- 農地中間管理機構（農地バンク）との調整
- 地域計画の地域での話し合いへの参加 など



農地をパトロールする様子

農業委員会は、農地を適切に管理し、地域の農業を支えるための活動をしています。

農業委員会や農業委員、地域の農地利用最適化推進委員まで気軽にご相談ください。

2月総会に提出する議案の申請締切日は1月30日（金）です。お早めにご相談ください。

“復興支援員”にご相談ください

☎ 浪江町復興支援員（浪江町社会福祉協議会）

福島事務所 TEL 024 (572) 5575 関東事務所 TEL 080 (6294) 5961（火曜日～金曜日 8時30分～17時15分）

主な活動内容

- 電話や訪問による相談支援（主に避難先での行政サービスに関すること）
- サロンなど交流会の開催
- 郡山交流館（コスモスふれあいセンター）の運営管理 など

須賀川、いわきでサロンを開催しました



須賀川市サロン（10月24日）
ラダーゲッター



いわき市サロン（11月21日）
スカットボール

今後の交流会開催予定

● 郡山市サロン ●

- ▶ 日時 1月16日（金） 10時～12時
- ▶ 場所 郡山交流館 コスモスふれあいセンター
（郡山市富田西5丁目2番地）
- ▶ 内容 スカットボール

参加申込みは福島事務所まで。今後も県内各所で交流会開催予定です。詳細はお問い合わせください。



浪江町名誉町民 原中勝征さんのご逝去に対し 謹んでお悔やみ申し上げます



原 中 勝 征 さん

第18代日本医師会会長など歴任、旭日重光章を受章

7月11日(金)、名誉町民の原中勝征さんをご逝去され、11月2日(日)に偲ぶ会が開かれました。原中さんは昭和15年に浪江町で生まれ、内科医師として長年、がんの研究にご尽力されました。東京大学助教授や医療法人杏仁会大圃病院理事長・院長、茨城県医師会会長、平成22年には「第18代日本医師会会長」を務められ、これらの功績により、平成29年には旭日重光章を受章されました。そのご功績をたたえ、同年に浪江町名誉町民の称号を贈りました。

また、日本医師会会長在任中に起きた東日本大震災の際には、被災地へ日本医師会災害医療チームをいち早く派遣し、被災地での人命救助にご尽力されました。

これまでのご功績に敬意を表し、そのご尽力に心から感謝を申し上げますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

問 総務課秘書係 Tel 0240(34)0239

国民健康保険運営協議会 新たな体制で始動します

問 健康保険課国保年金係 Tel 0240(34)0242

浪江町の国民健康保険事業の運営に関する協議会は、国保事業の運営に関する重要事項を審議する機関として設置されています。

11月26日(水)、委嘱状交付式が浪江町役場で行われ、12人の委員の皆さんに委嘱状を交付しました。任期は令和10年10月31日までの3年間です。



■委員名簿■ (敬称略)

被保険者代表

佐藤 洋子、今野 由佳、吉田 公明
竹村 みつみ

保険医または薬剤師代表

今村 眞哉、本田 拓、西 貞隆、新田 敏裕

公益代表

青山 信一(会長)、瀧 美佐江(副会長)
金澤 文隆、近藤 京子

ここから下は広告です。



公民館事業

受講生募集



☎ 生涯学習課社会教育係 ☎ 0240 (23) 5601

- 各事業の申込期限までにふれあい交流センターへ参加費を添えてお申込みください。
○受講者が定員に達した場合は募集を締め切らせていただきます。

事業名	内容・日程など	申込期限
ボイス トレーニング教室 (発声トレーニング)	内 発声の基礎を学び、歌唱力を向上させましょう 日 1月15日(木)・2月5日(木) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 500円 他 動きやすい服装、子ども連れの参加も可能	前日まで
ペン字教室	内 美しい字の書き方を基礎から学びましょう 日 1月19日(月) 10時～12時 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 500円 他 汚れてもいい服装	前日まで
アロマテラピー 教室	内 自然素材と精油が材料の、体に優しい石鹸作り。子どもや家族みんな で使えます 日 1月23日(金) 18時～19時 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 1,000円 他 タオル	1週間前
親子運動教室	内 モルックやピククルボールを親子で楽しみましょう 日 1月26日(月)・2月2日(月) 18時～19時 場 秋桜アリーナ サブアリーナ 定 20人 費 無料 他 動きやすい服装	前日まで
優しい ストレッチ教室 (柔軟教室)	内 筋肉をほぐし、柔軟性や関節の可動域を広げ凝った身体をほぐしま しょう 日 1月28日(水) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 20人 費 500円 他 動きやすい服装、子ども連れの参加も可能	前日まで
優しい リズムステップ 教室	内 ダンスの基礎を学び、楽しく動きましょう 日 2月4日(水) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 1回500円 他 運動できる服装、子ども連れの参加も可能	前日まで
ヨガ教室 (ボディメイク)	内 ヨガのポーズ、呼吸法で心身ともにリフレッシュしましょう 日 2月10日(火) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 1回500円 他 運動できる服装、子ども連れの参加も可能	前日まで

内 講座の内容 **日** 開催日時 **場** 集合場所 **定** 定員 **費** 参加費 **申** 申込み **他** 対象者や持ち物など

ここから下は広告です。



町内の住宅支援補助金

問 住宅水道課住宅係 TEL 0240 (34) 0232

町内の住宅支援として、個人住宅の所有者などに補助金を交付しています。



個人住宅再建補助金

町内にある個人住宅の新築・修繕・購入などの住宅再建費用を補助します。

■対象住宅

町内にある個人住宅
※災害救助法に定める応急修理（平成25年度事業終了分）に係る補助を受けた住宅を除く

■対象者

対象住宅の所有者かつ町内に住所がある人

■対象工事

個人住宅の再建工事（新築・修繕・購入など）
※物置設置、家財・家電購入、外構工事などは対象外です。

■補助額

最大25万円

■申込期限

3月17日(火)まで



住宅清掃費補助金

震災の影響により長期間にわたり管理ができず汚損などの被害を受けた町内にある個人住宅の清掃費用を補助します。

■対象者

次の全ての要件を満たす人

- ①平成23年3月11日時点で浪江町に居住していた人
- ②居住していた住宅を清掃し再び住む（既に住んでいる）人

■対象住宅

町内にある個人住宅
※賃貸住宅、解体予定の住宅は対象外です。

■対象となる清掃

清掃業者に委託して行う清掃
※必要に応じ、町と協定を締結している清掃業者を案内します。

■補助額

最大15万円

■申込期限

3月17日(火)まで



住宅用再生可能エネルギー設備等導入補助金

エネルギーの地産地消を推進するために、住宅用再生可能エネルギー設備などの導入費用を補助します。

■対象者

町内の住宅などに対象機器を設置し、申込期限までに電力会社との電力需給契約を締結する人

■対象機器および補助金額

- ①太陽光発電システム
最大16万円（4万円/kW）
- ②家庭用エネルギー管理システム（HEMS）
最大30万円（補助率1／2）
- ③住宅用蓄電池システム
最大30万円（3万円/kWh）
- ④電気自動車充電設備（V2Hシステム）
最大30万円（補助率1／2）

※福島県補助金との併用可能です。

※福島県補助金については、(一社)福島県再生可能エネルギー推進センター（TEL 024(526)0070）へお問合せください。

■申込期限

3月17日(火)まで



住宅等鳥獣被害対策補助金

町内にある家屋（住宅などの建築物）の有害鳥獣の侵入防止対策費用や家屋内に生息する有害鳥獣駆除費用を補助します。

※帰還困難区域を含む町内全域が対象です。

※農地や家庭菜園のみの対策は対象外です。

■対象者

・町内にある「家屋」または「家屋のある土地」の所有者

■対象費用

家屋の鳥獣被害対策事業に伴う次の費用
・新たに購入した資材（電気柵など）の購入費
・業者に支払った資材設置費用

■補助金額

最大10万円

※上限に達するまで複数回

申請が可能です。

■申込期限

3月17日(火)まで





文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)から皆さんへ

問 介護福祉課避難生活支援係 TEL 0240(34)0260

「東京電力から示された金額では納得できない」など、原発事故による損害賠償請求において困っている人を対象に、中立・公正な国の機関「ADRセンター」が無料で和解の仲介をします。

ADRセンター ☎0120(377)155 (月曜日～金曜日 10時～17時) ※祝日・年末年始を除く

ADRセンターでは 個々の事情を踏まえて 賠償額などを検討します

税の申告相談会場での説明会開催について調整中です。確定次第、チラシなどでお知らせします。



福島原子力発電所事故からすでに長い年月が経過しており、関係資料が失われたり、被害者の皆さんの記憶が薄れたりすることが懸念されますので、気になることがあれば当センターの早めの活用をお願いします。

平日昼間に時間を取れない人のための「平日夜間・土曜窓口」を開設します

弁護士などの専門家と無料で直接話をすることができ、その場で申立ても可能です。

■利用方法■

①福島事務所へ来所(郡山駅東口徒歩5分)

【予約優先】

②自宅などから電話・オンライン(Zoom)

【要予約・先着順】

■開設日■ 令和8年3月までの

奇数月 第1水曜(16～20時)⇒1月7日(水)・3月4日(水)

偶数月 第1土曜(13～17時)⇒2月7日(土)



詳しくは
こちら

ご予約は電話から ☎024(941)0164

特定帰還居住区域での被災家屋などの解体申請受付中

環境省では、特定帰還居住区域での家屋などの解体の申請を受付けています。解体を希望する場合は、解体申請窓口にご相談ください。

▶対象家屋

次の1～3に該当する家屋が対象です。

1. 対象範囲

特定帰還居住区域(井手、小丸、大堀、酒井、室原、羽附、津島、下津島、南津島、赤宇木、川房、屋曽根の各一部)およびその周辺に位置する家屋など。

※所有建物の住所が区域範囲内か確認したい人は、下記の受付窓口までお問い合わせください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請は、令和6年4月1日をもって締め切りました。

2. 対象家屋など

東日本大震災および長期避難に伴い荒廃した住家、倉庫、物置、納屋、畜舎、農業ハウス、事務所、店舗など

※原則、環境省が除染した家屋などは解体の対象にはなりません。解体の意向がある場合は、解体前に除染を希望しないでください。ただし、過去に特定復興再生拠点区域外縁として家屋除染し、現在は特定帰還居住区域内にある家屋などについては、解体対象となる場合もあります。所有建物が解体対象となるか確認したい人は、下記の受付窓口までお問い合わせください。

3. リ災証明

震災時点で居住していた住家の場合は、浪江町が交付する「リ災証明書」において「半壊」以上の判定であること。

解体申請
受付窓口

環境省被災建物解体受付センター(高島テクノロジーセンター)

〈場 所〉浪江町大字権現堂字石井前44-1

〈受付時間〉月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(祝日および年末年始を除く)

〈連絡先〉☎0120(603)016(フリーダイヤル)



●●パブリックコメントを実施します●●

浪江町地域公共交通計画(案)

☎ 企画財政課企画調整係 ☎ 0240(34)0240

浪江町の特성에合わせた、利便性が高く、効率的で持続可能な地域公共交通の構築を目指し、「浪江町地域公共交通計画」の策定を進めています。町民の皆さんからのご意見を募るパブリックコメントを実施します。

▶ 期間 1月15日(木)～29日(木)

▶ 方法 町ホームページ、役場窓口にて計画書(案)の閲覧および意見書の提出

▶ 窓口 浪江町役場本庁舎、津島支所



町ホームページ



意見書

浪江町環境基本計画(素案)

☎ 住民課除染環境係 ☎ 0240(34)0228

今年度末の策定を目指す浪江町環境基本計画(素案)について、町民の皆さんから幅広く意見を募るパブリックコメントを実施します。

▶ 期間 1月5日(月)～21日(水)

▶ 方法 町ホームページ、役場窓口にて計画書(案)の閲覧および意見書の提出

▶ 窓口 浪江町役場本庁舎、津島支所、いわき・二本松・福島出張所



町ホームページ



意見書

移住者交流会 ～花き栽培を知る～

☎ 企画財政課移住推進係 ☎ 0240(23)5764

浪江町に移住した人と、長く町に住んでいる人などが、「浪江を知る」に焦点を当てて語り合う交流会を開催します。花き栽培をテーマに、町内の生産者のお話を聞いたり、切り花体験をします。

▶ 日 時 2月7日(土) 9時50分～12時

道の駅なみえ前に集合。バスなどで移動

▶ 場 所 ● NPO法人Jin 花き栽培ハウス(幾世橋)
● 道の駅なみえ会議室

▶ 対 象 浪江町に移住した人・浪江町に住んでいる人

▶ 参加費 無料

▶ 申し込み 一般社団法人まちづくりなみえ移住定住相談窓口へ電話もしくは申込用紙を提出(9時～18時、水・日・祝・年末年始休) ☎ 0240(23)7530

※申込用紙は移住定住相談窓口などに設置してあります。

▶ 申込期限 2月2日(月)



ここから下は広告です。



し尿の汲取りと浄化槽清掃の料金が変更になります

問 双葉地方広域市町村圏組合 双葉環境センター TEL 0240 (22) 3330
問 双葉地方広域市町村圏組合 事務局環境福祉課 TEL 0240 (22) 3333

■料金変更の理由

し尿の汲取りと浄化槽の清掃料金は、平成12年度より現行の料金となっていますが、処理コストの増加に伴い、**4月1日**から下表のとおり変更になります。

■し尿汲取り料金（税込）

区分	料金	区分	料金	区分	料金
180ℓまで	2,250円	270ℓまで	3,375円	360ℓまで	4,500円
198ℓまで	2,475円	288ℓまで	3,600円	378ℓまで	4,725円
216ℓまで	2,700円	306ℓまで	3,825円	396ℓまで	4,950円
234ℓまで	2,925円	324ℓまで	4,050円	414ℓまで	5,175円
252ℓまで	3,150円	342ℓまで	4,275円	～	～

区分	1㎡あたりの料金
単独浄化槽	18,590円
合併浄化槽	12,500円

※料金に10円未満の端数があるときは切り捨て

例1 単独浄化槽で汚泥量が1.57㎡の場合の清掃料金
 $18,590円 \times 1.57㎡ = 29,186円 \Rightarrow \mathbf{29,180円}$

例2 合併浄化槽（人槽問わず）で汚泥量が4.55㎡の場合の清掃料金
 $12,500円 \times 4.55㎡ = 56,875円 \Rightarrow \mathbf{56,870円}$

■汲取り・浄化槽清掃のお問合せ先

業 者 名	電話番号	担当地区
公揚環境事業有限会社 櫛葉営業所	TEL 0240 (25) 5135	広野町・櫛葉町・川内村
株式会社協和エムザー	TEL 024 (963) 0346	富岡町・大熊町・双葉町
有限会社阿部衛生社	TEL 0240 (34) 2650	浪江町・葛尾村

「林野火災注意報」「林野火災警報」の運用が開始されます

問 双葉消防本部 消防課予防係 TEL 0240 (25) 8523

令和7年2月に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災を受けて、1月1日から林野火災の予防を目的に、火災予防条例が改正されます。

「林野火災注意報」とは？

林野火災の予防上、注意を要する気象状況になった際、注意報が発令された町村は「火の使用の制限」について、従うよう努めることとなります。

【発令基準】

- 12月から5月の期間において、以下の①または②のいずれかの条件に該当する場合
- ①前**3日間**の合計降水量が**1mm**以下かつ前**30日間**の合計降水量が**30mm**以下
 - ②前**3日間**の合計降水量が**1mm**以下かつ**乾燥注意報**が発表

※当日に降水が見込まれる場合や積雪がある場合は、発令しないこともあります。

「林野火災警報」とは？

林野火災の予防上、**危険な気象状況**になった際、**警報**が発令された町村は「火の使用の制限」について、従うこととなります。

【発令基準】

12月から5月の期間において、**林野火災注意報**の**発令基準に加え、強風注意報**が発表された場合

「火の使用の制限」とは？

山林、原野などで火入れをしないこと、屋外で火遊びまたはたき火をしないこと、など

「火の使用の制限」に従わなかった場合は？

「**林野火災注意報**」は、罰則が伴わない努力義務となります。

「**林野火災警報**」は、火の使用の制限に違反した者に対し、30万円以下の罰金または拘留に処することが消防法で定められています。（消防法第22条第4項・消防法第44条第18号）

双葉消防本部では、消防車両での巡回広報や町村の防災無線広報、ホームページを活用して住民に周知します。



「楽しいトーク」英会話教室

問 市街地整備課F-REI立地室 TEL 0240(23)6927

町民の皆さんと外国人とが気軽にコミュニケーションを取っていただくことを目的に、フリートークを重視した英会話教室を開催します（全3回）。

英語のネイティブスピーカーとの会話を楽しみながら英語で話すスキルを向上しませんか？

詳しくは今月号同封のチラシをご覧ください。

▶日時

第1回 1月16日(金) 18時～19時30分

第2回 2月13日(金) 18時～19時30分

第3回 3月13日(金) 18時～19時30分

▶場所 ふれあい交流センター 会議室1

▶対象 浪江町民（町内企業などの就労者も可）

申込フォーム



▶定員 15人（参加費無料）

▶申し込み

電話または申込フォーム

町民向け第3回セミナー 「F-REIのことを知ろう!!」

問 市街地整備課F-REI立地室 TEL 0240(23)6927

F-REIの農林水産業分野の研究について、研究者が「土のチカラ、土を活かす」をテーマに説明します。

詳しくは、ホームページまたは今月号同封のチラシをご覧ください。

▶講師 二瓶 直登さん

（土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニットリーダー）

▶日時 2月7日(土) 10時～11時

▶場所 秋桜アリーナ 会議室

▶定員 30人（参加費無料）

▶対象 浪江町民、大熊町民、双葉町民

申込フォーム



▶申し込み 電話または申込フォーム



イベント・募集

第1回太鼓浪音の単独公演

問 生涯学習課社会教育係 TEL 0240(23)5601

2023年に発足した浪江町の和太鼓グループ「太鼓浪音」が、初の単独公演を行います。

これまで応援してくださった皆さんに感謝を込めて、一生懸命演奏します。

▶日時 2月28日(土) 15時～

▶場所 秋桜アリーナ

▶入場料 1,000円 小学生以下無料

▶申し込み

浪音メンバーへ連絡するか、TEL 080(5516)3161、
e taiko.namimoto@gmail.comまで連絡

福島県警察音楽隊 浪江特別公演

問 生涯学習課社会教育係 TEL 0240(23)5601

福島県警察音楽隊の浪江特別公演を開催します。福島県警察音楽隊による演奏と演技のほか、なみえ創成小学校のダンスチーム、南相馬市のダンスと歌のグループ「トモダチプロジェクト」の子どもたちが参加する演目もあります。

▶日時 2月21日(土)

開場：10時25分 開演：10時45分

▶入場料 無料

▶場所 秋桜アリーナ

広報なみえ

配送・停止の申し込みはこちらから

広報紙の配送開始、停止申請フォームを運用開始しました。

右のQRコードを読み込み、必要な情報を入力してください。

申込フォーム



ここから下は広告です。



法律問題に関する相談会

問 浪江町役場福島出張所 Tel 024(529)7451
問 浪江町役場いわき出張所 Tel 0246(24)0020
問 浪江町役場二本松出張所 Tel 0243(62)0123

町の弁護士が法律問題について、ご相談に応じます。
※対応する弁護士は、町の職員であるため、裁判などの代理人になることはできません。代理が必要な案件の場合は、弁護士会をご紹介します。

▶場所および日程

- 福島出張所 2月4日(木)
- いわき出張所 1月13日(火)、1月27日(火)
2月10日(火)、2月24日(火)
- 二本松出張所 1月20日(火)、2月17日(火)

▶時間 13時～16時

※予約不要ですが、一組ずつの相談のため、お待ちいただく場合があります。

司法書士の無料相談会

問 介護福祉課避難生活支援係 Tel 0240(34)0260

相続登記や土地・建物の不動産登記、成年後見などの相談(要予約)ができます。

▶日時

1月15日(木) 13時～16時

※各30分間の計6枠。申し込みは先着順です。

▶場所

浪江町役場 1階 第一行政相談室

▶申し込み

避難生活支援係まで電話

就活ワークショップ事業 『求職者カフェ』

問 福島広域雇用促進支援協議会福島統括窓口
Tel 024(524)2121

利用無料、予約不要です。

応募書類作成や面接対策、証明写真の撮影、ビジネスマナーなど、様々な就職支援を用意しています。ご希望の支援を受けられます。

詳しくはこちら



▶場所

南相馬ジャスモール内
(南相馬市原町区大木戸金場77)

▶利用時間

10時～18時(月～金) ※祝日を除く

スマホ・タブレットの使い方相談会

問 企画財政課情報統計係 Tel 0240(34)0241

スマートフォン・タブレットの操作や「なみえ新聞」、「LINE」などのアプリの使い方分からないことがある人向けの相談会を開催しています。



■浪江町開催

- ▶日時 1月9日(金) 10時～12時
1月23日(金) 10時～12時

- ▶場所 浜通り地域デザインセンターなみえ

■二本松市開催

- ▶日時 1月20日(火) 10時～12時、13時～15時
- ▶場所 石倉団地集会所
(二本松市油井字石倉)

※予約不要。相談会は1人ずつの対面式です。

シニア向け！スマホ教室

問 企画財政課情報統計係 Tel 0240(34)0241

高齢者向けに、スマートフォンやタブレットの基本的な操作やインターネットでの検索方法、「LINE」などのアプリの使い方などをお伝えします。貸出機も用意しています。

- ▶費用 無料

▶申し込み

開催日の1週間前までに情報統計係へ電話

- ▶募集人数 各会場15人(先着順)

■浪江町開催

- ▶日時 2月9日(月) 13時30分～15時30分
- ▶場所 ふれあい交流センター 会議室1

■いわき市開催

- ▶日時 3月5日(木) 13時30分～15時30分
- ▶場所 浪江町役場いわき出張所
(いわき市平南白土1丁目5-12)

子育て広場 第9回子育てサロン「ぽかぽかテラス」

問 健康保険課健康係 Tel 0240(34)0249

福島県立医科大学小児科学講座より講師を招き、家庭でできる応急処置や上手なお医者さんのかかり方などについて学びます。※託児つき

- ▶日時 1月22日(木) 10時～11時30分
- ▶場所 ふれあい交流センター 会議室1

- ▶内容 子育て講座「こどもの救急について」

- ▶申し込み 1月15日(木)までに電話で申し込んでください。



弘前大学イベント情報館

問 弘前大学浪江町復興支援室（健康保険課内）
TEL 080(2813)0824

弘前大学では、定期的に出張相談窓口を開催しています。

健康や放射線に関して気になることがあれば、気兼ねなくご相談ください。

日時	会場（住所）
1月13日(火) 10時～15時	北原団地集会所 (南相馬市原町区北原前田148-1)
1月20日(火) 10時～15時	幾世橋集合住宅集会所 (浪江町大字幾世橋字斎藤屋敷71-2)

《今回の出張相談窓口でできること》

- 健康チェック（血圧や体の中の酸素濃度の測定）
 - 健康診断の結果の見方や内服薬に関するご相談
 - 放射線に関するご相談
 - ・身の回りの放射線に関する話題について
 - ・町が貸し出している線量計の利用、測定結果について
 - ・食品の放射能簡易検査について など
- ※最終受付は14時30分です。

生ごみ処理容器等設置報奨金

問 住民課除染環境係 TEL 0240(34)0228

家庭における生ごみの有効利用および減量化の推進と、生ごみ減量化啓発のため、生ごみ処理容器などを購入した人に対し報奨金を交付しています。今年度の上限に達し次第終了します。

▶報奨金交付額

購入金額の2分の1（上限30,000円まで）

▶交付対象者（全てに該当する人）

- ①町内に住所があり、かつ町内に居住している人
※町内に設置する人のみ対象です
- ②町税に未納のない人
- ③生ごみ処理容器を設置できる敷地を有している人
- ④堆肥化したごみを有効処理できる人
- ⑤買い替えの場合、以前の報奨金交付から5年以上経過している人

▶申請書類

- ・報奨金交付申請（請求）書（ホームページからダウンロード可能）
- ・領収証（原本）
- ・振込口座の通帳の写し
- ・商品のパンフレットまたはカタログ（メーカー、型番、仕様・性能がわかるもの）

働きたいネットのパートのしごと相談会

問 福島広域雇用促進支援協議会福島統括窓口
TEL 024(524)2121

参加無料、履歴書不要、服装自由のしごと相談会です。働ける時間の中で仕事を見つけませんか？

【雇用保険受給者へ】

本説明会は「求職活動実績」になります。参加証明書を発行します。

▶日時 1月22日(木) 13時30分～15時

▶場所 みんなの交流館 ならはCANvas
(檜葉町大字北田字中満260)

▶参加企業

相双地域などの企業8社
(企業の詳細はホームページをご覧ください)

▶申し込み

福島広域雇用促進支援協議会福島統括窓口まで電話かホームページから予約、または当日参加。

入場は予約した人を優先します。

[詳しくはこちら](#)



トレーニングマシンをもっと知ろう

問 秋桜アリーナ TEL 0240(34)3941

秋桜アリーナのトレーニングルーム利用者を対象に、トレーニングマシンの正しい使い方、効果的な使い方などを健康運動指導士がアドバイスします。



- ▶日時
- | | |
|----------|---------------|
| 1月6日(火) | 9時30分～11時30分 |
| 1月14日(火) | 17時30分～19時30分 |
| 1月23日(金) | 14時～16時 |
| 1月30日(金) | 17時30分～19時30分 |
| 2月4日(火) | 17時30分～19時30分 |
| 2月10日(火) | 9時30分～11時30分 |
| 2月20日(金) | 17時30分～19時30分 |
| 2月26日(木) | 14時～16時 |

ここから下は広告です。



文化およびスポーツ振興育成事業 助成金

☎生涯学習課社会体育係 ☎0240(34)3941

▶対象

町内に住所または活動の本拠を有し、次の事業を行う個人（浪江町出身者を含む）または団体

- ①文化活動の成果発表、発表会等への出場・出品（東北大会以上）・派遣、文化財の保護・伝承活動など、芸術文化活動に関する事業
- ②各種スポーツ大会の開催、出場（東北大会以上）、選手強化・派遣、指導者養成など、スポーツ活動に関する事業

※助成金が受けられるのは、1個人または1団体に付き、当該年度1回となります。

▶助成金額など

助成金額（※対象事業区分ごとに異なります）その他詳細については、浪江町文化およびスポーツ振興育成事業に関する規則の定めるところによります。



重度心身障がい児童福祉手当の支給

☎介護福祉課福祉係 ☎0240(34)0238

町では、重度の心身障がい児童を養育している人へ重度心身障がい児童福祉手当を支給しています。希望者には受給申請書を送付しますので、介護福祉課福祉係までお電話ください。

▶受給資格

浪江町に住民票を有し、以下1～3に該当する20歳未満（平成18年1月3日以降に生まれた人）の心身障がい児を養育（その児童と同居してこれを監護し、かつその生計を維持すること）している人

1. 特別児童扶養手当受給要件1級に該当する児童
2. 身体障害者福祉法による身体障害者手帳の交付を受けた者で、障害の程度が2級以上または内部障害を持つ3級の児童
3. 知的障害の状態にあるもので、障害の程度がA判定の療育手帳を交付されている児童

▶支給額

児童1人あたり2万円
（令和8年1月1日を支給基準日）

▶申請締め切り

2月27日(金)

浪江町子育て支援家賃補助金制度

☎教育総務課子育て支援係 ☎0240(34)0252

▶対象世帯

浪江町に住民登録があり、18歳（18歳の誕生日以降の最初の3月31日）までの間にある子どもと町内の賃貸住宅に同居、養育し、かつ家賃を支払っている世帯

※社宅、官舎、寮などの給与住宅や2親等以内の親族が所有する住宅に入居している場合または福島県や町から同様の家賃補助などを受けている場合は対象外です。

▶補助内容

令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）に支払った家賃の一部（家賃の月額から勤務先の住宅手当などを差引いた額の2分の1以内）。

※1世帯あたり月額3万円を限度とします。

▶提出書類

- ・浪江町子育て支援家賃補助金交付認定申請書
 - ・世帯全員の住民票の写し
 - ・市区町村民税に滞納がないことを証する書類（子どもと同居している人全員分必要）
 - ・賃貸契約書の写し
 - ・住宅手当が確認できる書類（給与明細書など）
- ※自営業または、無職の人については、住宅手当がないことの申立書を提出してください。

▶提出期限

2月27日(金)まで

申請書はホームページからもダウンロードできます。

浪江町町内飲食店 食料品調達支援事業補助金

☎産業振興課商工労働係 ☎0240(34)0247
✉namie15010@town.namie.lg.jp

交付決定を受けている飲食店にお知らせです。

第3四半期分（10月から12月）の実績報告の提出期限は、1月15日(休)までです。

必要書類をそろえて期日までに提出してください。

▶提出書類

- ①実績報告書 様式8号
 - ②食料品調達帳簿 様式9号 該当月分を記入
 - ③レシート・請求書など
- 月ごとにまとめて提出。返却はできません。

[詳しくはこちら](#)





固定資産（土地・家屋）の利用状況や住所などに変更はありませんか？

☎ 住民課税務管理係 ☎ 0240(34)0223

固定資産税は、1月1日現在で土地・家屋・償却資産の所有者に課税されます。

令和7年中に次の変更があった場合は、速やかにご連絡ください。

- ・家屋を取り壊した、新築・増築をした、またはその予定がある（登記手続きや町の調査が完了していない）
- ・登記していない家屋の所有者を変更した
- ・土地の状況や利用状況に変更がある（ソーラーパネルの設置など）
- ・納税通知書の送付先に変更がある

※令和7年12月までに法務局への滅失登記が済んでいる場合や環境省による解体の場合は届け出不要です。

※詳細は町ホームページ「固定資産税に係る届出等について」をご覧ください。

福島空港 キャンペーン実施中

☎ 福島空港利用促進協議会事務局
☎ 0247(57)1266

福島から大阪、札幌、台湾へ。

手荷物を一度預ければ、最終目的地まで自動で運ばれる乗り継ぎ利用が非常に便利です。

四国・九州各地、沖縄へもスムーズに到着します。



福島空港
winter 旅キャンペーン



乗ってク！
チェックインキャンペーン



「見て、乗って、
応募しよう！」
福島県産品プレゼント
キャンペーン



パスポート補助・
30歳未満1万円値引き

国民健康保険の加入・脱退の手続きを忘れずに

☎ 健康保険課国保年金係 ☎ 0240(34)0242

就職や退職により、国民健康保険の加入・脱退をする場合には、14日以内に「資格異動届」に記入し、必要書類を添えて、国保年金係、各出張所または郵送にて提出してください。

※郵送の場合は国保年金係へお問い合わせください。
※資格異動届は町ホームページからダウンロードできます。

▶手続きに必要な書類

●国保から脱退するとき

- ・新しく加入した健康保険の資格確認書または資格情報のお知らせ
- ・現在お持ちの浪江町国民健康保険資格確認書または資格情報のお知らせなどの返却
- ・顔写真付きの本人確認書類

●国保に加入するとき

- ・会社や健康保険組合から発行される「資格喪失証明書」（原本）
- ※「離職票」や「退職証明書」では手続きできません。
- ・顔写真付きの本人確認書類

国民健康保険加入者が交通事故などでけがをしたときは

☎ 健康保険課国保年金係 ☎ 0240(34)0242

交通事故など他人（第三者）の行為が原因でけがをしたときに、国民健康保険を使ってけがの治療を受ける場合は届出が必要です。

原因となった加害者が支払うべき医療費を国民健康保険が立て替えて支払い、後日、被害者に代わって加害者に請求します。

▶届出が必要な場合

- ・交通事故でけがをした
- ・他人に暴力を振るわれた
- ・他人のペットに噛まれた など

▶示談は慎重に

加害者と示談で済ませた場合、国民健康保険を使えなくなってしまう場合がありますので、まずは国保年金係に相談してください。

また、示談した場合は、必ず示談内容がわかる書類の写しを提出してください。

▶国民健康保険を使用できない場合

- ・勤務中の事故やけが（通勤中の事故を含む）
- ・故意の事故
- ・飲酒運転や無免許運転など法令違反の事故
- ・加害者から既に治療費を受け取ったとき



町内空間線量測定結果

☎ 総務課防災安全係 TEL 0240 (34) 0229

原子力規制委員会のモニタリングポストが設置されていない地点の空間線量測定結果をお知らせします。
シンチレーション式サーベイメータにより、地上1メートル地点の測定値を掲載しています。

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

地 区	測 定 地 点	測定値
浪 江	新町セブンイレブン付近	0.10
	新町ふれあい広場付近	0.12
	常磐線陸橋東側	0.14
	常磐線陸橋西側	0.19
	川添字小丸田地内	0.33
	国道6号高瀬交差点付近	0.07
	高瀬字小高瀬迫地内	0.20
幾 世 橋	貴布祢(幾世橋字長田東地内)	0.11
	北幾世橋字町尻地内	0.13
	北幾世橋字荒井前地内	0.09
	棚塩字弥平迫地内	0.10
	浪江にじいろこども園	0.07
請 戸	請戸橋南側	0.08
	中浜字西原地内	0.09
	両竹字的場地内	0.08
大 堀	小丸字赤下地内	0.80
	小丸字三程地内	0.31
	畑川集会所	0.42

地 区	測 定 地 点	測定値
苧 野	立野字根渡地内	0.29
	酒田字上原地内	0.20
	国道114号仙人沢トンネル南側	1.09
	室原字小萱地内	0.29
	室原字堀知木地内	0.40
	加倉スクリーニング場	0.45
	加倉ローソン付近	0.21
	藤橋字善明迫地内	0.09
	藤橋不動尊前	0.15
津 島	津島字水境地内	0.47
	津島字仲野作地内	1.32
	津島字谷津地内	0.47
	津島字町前地内	0.30
	浪江町役場旧津島支所	0.45
	赤字木字櫛平地内	1.29
	昼曽根字尺石地内	1.69

* 測定日は12月1日(月)です。

自家消費食品などの放射能簡易分析結果

☎ 健康保険課放射線対策係
TEL 0240 (34) 0261

町は、自家消費食品などの安全・安心のため、食品中の放射能を測る機器を配備し、放射性物質の測定を行っています。

■11月の分析結果(町内で採取された検体を掲載)

全ての検体		基準値以上検出された検体		
区 分	検体数	品 名	基準値を超えた検体数	最大値 (Bq/kg) *
野 菜	11		0	
果 実	10		0	
魚	0		0	
山菜、キノコ類	1		0	
その他	3		0	
水(井戸水・湧水など)	0		0	
合 計	25		0	

* 基準値を超えた検体数が複数の場合は、数値の一番高いものを記載しています。

食品衛生法における基準値
(セシウム134、セシウム137の合算値)

- 一般食品……………100 Bq/kg
- 飲料水……………10 Bq/kg
- 牛乳、乳幼児用食品… 50 Bq/kg

※ 検出下限値25Bq/kgを超える検体の掲載は除いています。

正確な測定をするために、食品であれば500グラム以上、水であれば2リットル程度必要です。

※ 帰還困難区域以外のものを受付しています。

自家消費食品などの簡易測定は、浪江町役場本庁舎および津島支所で随時受付しています。
検査受付は原則平日のみになります。

※ 採取地など詳しくは、ホームページをご覧ください。

ここから下は広告です。



わたしたちのまち

(令和7年11月末現在)

人	□	14,142人(-45人)
男		7,029人(-21人)
女		7,113人(-24人)
世帯数		6,498世帯(-4世帯)
■ 住民課住民係 TEL 0240(34)0230		
居住人口		2,411人(+4人)
居住世帯数		1,552世帯(+4世帯)

■ 総務課防災安全係 TEL 0240(34)0229
※括弧書きは、対前月比になります。



百歳賀寿

お名前 満100歳誕生日 住 所

原 田 トミエ 11月29日 権 現 堂
木 幡 喜 六 11月30日 棚 塩

■ 介護福祉課介護係 TEL 0240(34)0226
※4月以降に対象となった人を掲載しています。

お悔やみ

死亡届は7日以内に

氏 名	年 齢	住 所
10月		
門 馬 孝 義	92歳	権 現 堂
伊 東 重 幸	73歳	高 瀬
石 田 富久雄	85歳	樋 渡
佐 藤 正	92歳	酒 田
筒 田 國 夫	91歳	小 丸
西 弘	89歳	権 現 堂
近 藤 徳太郎	92歳	大 堀
田 畑 定	91歳	権 現 堂
11月		
坂 下 ハナ子	87歳	南 津 島
牛 渡 慶 一	87歳	北幾世橋
阿 部 ミサオ	93歳	西 台
矢 澤 藤 夫	87歳	権 現 堂
桜 本 志津子	93歳	高 瀬
佐 藤 春 江	66歳	北幾世橋
大 橋 茂 子	76歳	加 倉
半 谷 敏 夫	76歳	高 瀬
畠 山 金 一	103歳	川 添
今 福 玉 子	89歳	小 野 田
藤 本 和 彦	65歳	高 瀬

お誕生・お悔やみ欄は、ご家族に確認が
取れた人を掲載しています。

■ 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241



浪江診療所のお医者さん

■ 浪江診療所 TEL 0240(23)6173

■ 診療受付 8時30分～11時30分 13時30分～15時30分
※整形外科 午後のみ12時45分～14時

■ 場 所 浪江町役場北西側

■ 診療体制

本田医師(常勤) ……月～金曜日
山田医師(内科) ……1月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)
宗像医師(内科) ……1月9日(金)・21日(火)
小早川医師(内科) ……1月7日(火)・28日(火)(午前のみ)
先崎医師(小児科) ……1月6日(火)
中川医師(小児科) ……1月30日(金)
上原医師(整形外科) ……1月8日(木)・15日(木)・22日(木)・29日(木)
※祝日を除く・都合により変更あり

※風邪の諸症状がある場合は、来所前に必ず電話連絡をお願いします。



仮設津島診療所のお医者さん

■ 仮設津島診療所 TEL 0243(24)1431

■ 診療受付 8時30分～11時30分 13時30分～15時30分

■ 場 所 二本松市油井字大窪118番地

■ 診療体制

西医師(内科) ……毎週水曜日
1月9日(金)・23日(金)・30日(金)
今村医師(婦人科・内科) ……毎週月曜日
1月15日(木)(午前)・29日(木)(午前)
木村医師(皮膚科・内科) ……1月20日(火)
宗像医師(内科) ……1月8日(木)・22日(木)
小早川医師(内科) ……1月6日(火)・13日(火)・15日(木)(午後)
16日(金)・27日(火)・29日(木)(午後)
※祝日を除く・都合により変更あり

※風邪の諸症状がある場合は、来所前に必ず電話連絡をお願いします。

震災時町民の居住状況 (11月30日現在)

都道府県	人数	対10/31	都道府県	人数	対10/31
北海道	54	0	滋賀県	8	0
青森県	40	0	京都府	32	0
岩手県	31	0	大阪府	69	0
宮城県	895	0	兵庫県	22	1
秋田県	32	0	奈良県	5	0
山形県	103	0	和歌山県	0	0
福島県	12,852	-25	鳥取県	1	0
茨城県	911	-2	島根県	5	0
栃木県	440	-1	岡山県	24	0
群馬県	129	0	広島県	8	0
埼玉県	638	2	山口県	1	0
千葉県	550	1	徳島県	1	0
東京都	828	-1	香川県	4	0
神奈川県	410	0	愛媛県	6	0
新潟県	264	0	高知県	4	0
富山県	15	0	福岡県	20	0
石川県	19	0	佐賀県	4	0
福井県	6	0	長崎県	12	0
山梨県	34	0	熊本県	6	0
長野県	52	0	大分県	5	0
岐阜県	16	0	宮崎県	12	0
静岡県	62	0	鹿児島県	8	0
愛知県	37	0	沖縄県	21	0
三重県	7	1	国 外	12	0

第3回 請戸もの まつり

おえかき
パラダイス



おさかな水族館



12月6日(土)、「請戸もの」の美味しさと魅力を発信するイベント「第3回請戸ものまつり」が道の駅なみえで開催されました。

請戸漁港で水揚げされた生きた魚に触れることができる「おさかな水族館」や、描いた魚が動き出す「おえかきパラダイス」、「ガニ汁」の無料振る舞い、ホッキ貝の絵付け体験、ステージイベントなど、親子で楽しめる体験企画を多数実施しました。また、請戸漁港の漁師によるロープワーク体験など、地元漁業者との交流機会にもなりました。

2月28日まで 豪華景品を当てよう! 請戸ものキャンペーン

① SNSで「#請戸もの」投稿

請戸ものを使った料理や、関連イベントなどを撮影し、うけどん公式アカウントをフォロー後、ハッシュタグ「#請戸もの」をつけてInstagramなどSNSに投稿すると、参加者の中から抽選で請戸もの詰め合わせなどをプレゼント!

[詳しくはこちら](#)



② 食べ歩きスタンプラリー

請戸もの取り扱い店でスタンプを集めると、獲得スタンプ数に合わせて各商品に応募できます。対象は県内17店舗、スタンプ1個から応募可能です。

[詳しくはこちら](#)



うけどん

出張!

第33回

撮れたて写真館

11月のうんといいいした!



きよはし村 さん (11月15日投稿)

デフリンピック「ビレッジ会場」に、ブルーインパルスが、やってきました。
会場周辺の駐車スペースは、満杯でした🥰

※11月1日～11月30日のうち、「なみえ新聞」の「みんなで投稿! 撮れたて写真館」に投稿された写真の中で、1番多く「いいした!」ボタンが押された投稿です。

福島県
ナンバーワンの
キャラクターを
目指してます!

投票は
1月31日(土)
まで



「うけどん」が、福島民報社主催、福島県内の市町村・団体、企業に所属するマスコットキャラクターのナンバーワンを決める「ふくしまマスコットキャラクター総選挙」に挑戦しています。

現在、ご当地部門で「うけどん」が1位になっています。投票は1人1回まで。

ぜひ、投票で、応援をお願いします。

投票期間 2026年1月31日(土)まで

投票回数 1人1回

投票は下のQRコードから



あだたらちゃん

広報なみえ 2026.1.1 (28)